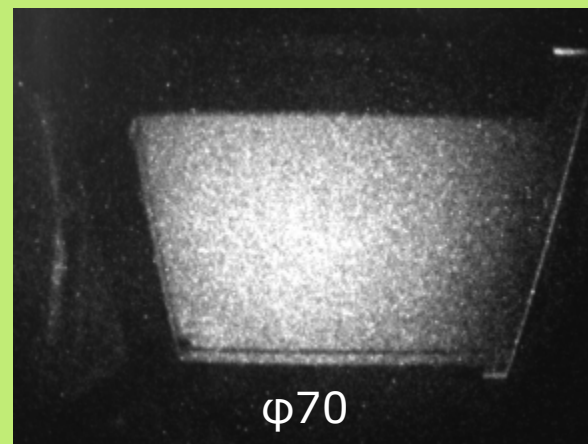
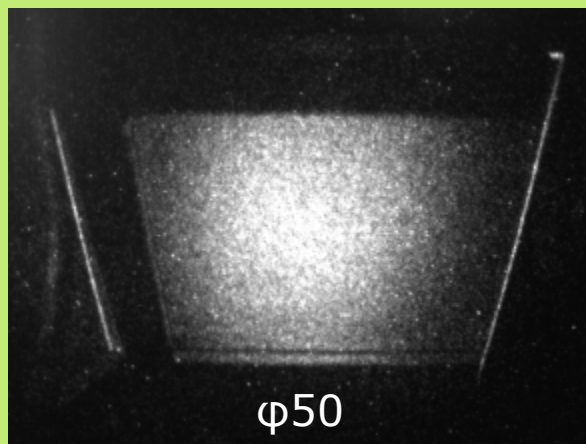
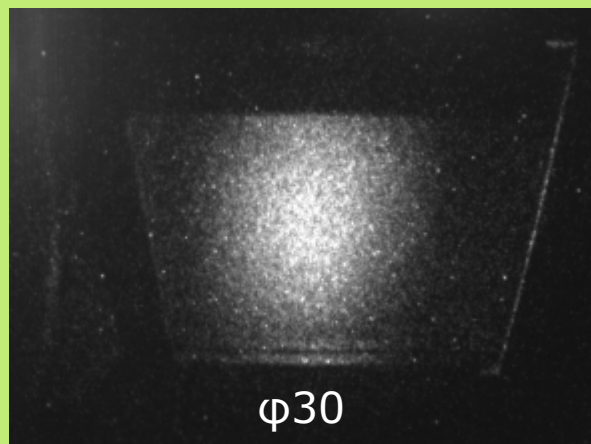
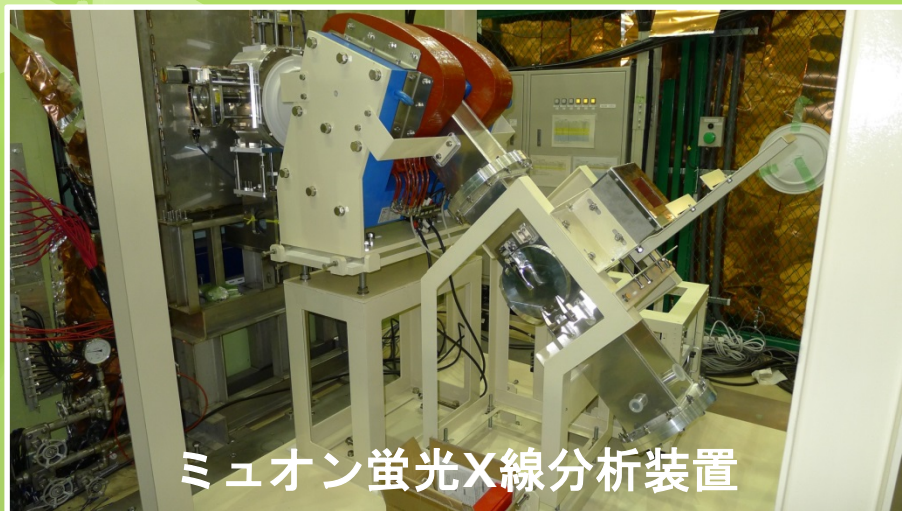


# 負ミュオンビーム蛍光X線分析の現状について

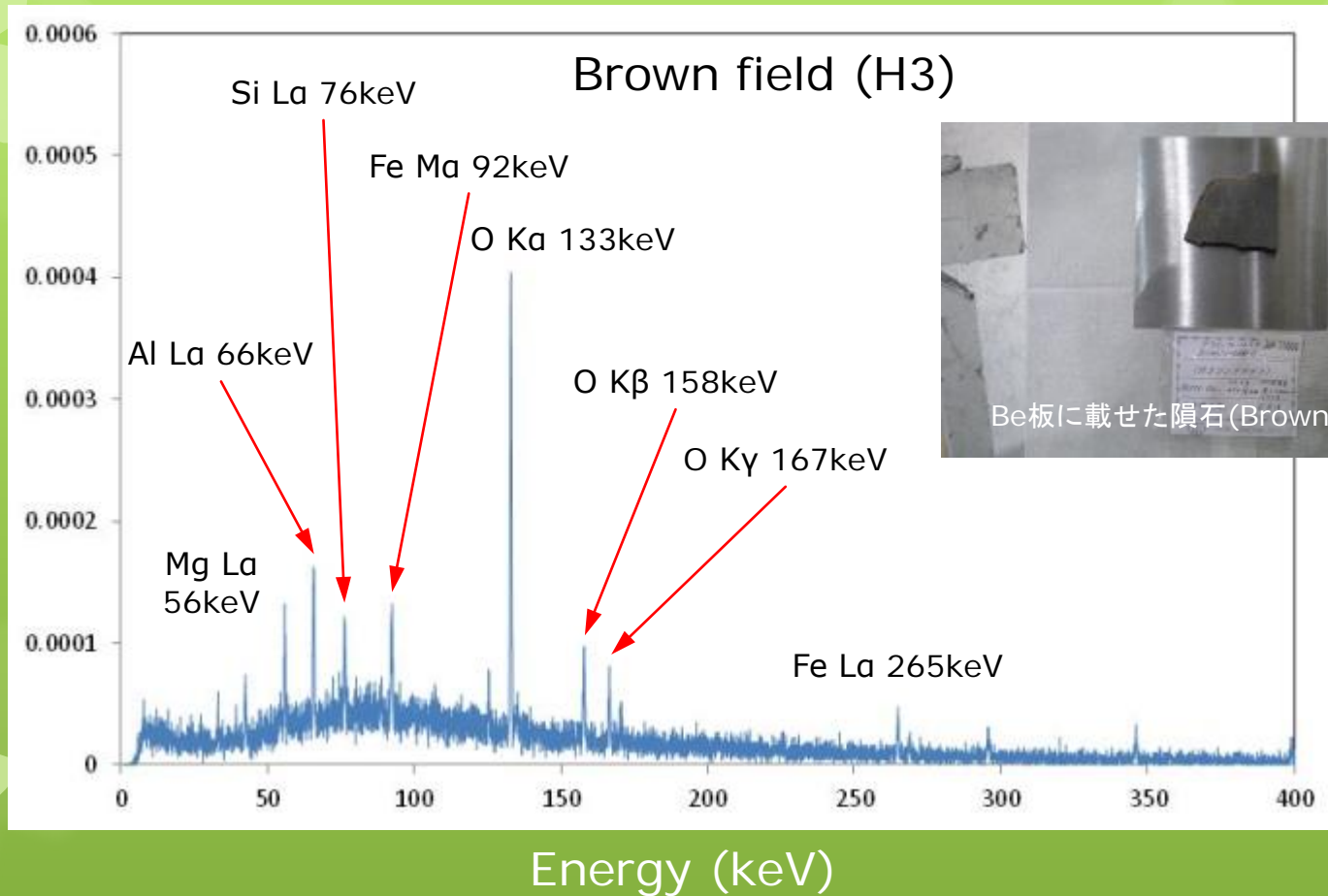
大澤崇人<sup>1</sup>、二宮和彦<sup>2</sup>、吉田剛<sup>2</sup>、稲垣誠<sup>2</sup>、久保謙哉<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>日本原子力研究開発機構、<sup>2</sup>大阪大学、<sup>3</sup>国際基督教大学



コリメータの径と撮像されたビームプロファイル

# 測定結果の一例

Counts/Pulse/0.05107keV



- S/N比の大幅な向上を達成
- 定量方法の問題はあるが、主要元素を非破壊で分析可能